



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員 TAKE FREE

マサーヨがゆく vol.10

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。

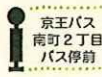


Instagramもぜひご覧ください @masayokosaka

『マサーヨがゆく』 祝 10号発行記念！ 原画展開催！

年に3回発行している『マサーヨがゆく』おかげさまで10号を迎えました！パチパチパチ！これを読んでくださる皆様がいるからこそです。ありがとうございます！『マサーヨがゆく』のイラスト面は、すべて国分寺市在住のコピライター「にこさんば編集室」さんの手描きによるもの。ぜひこの機会に、原画ならではのタッチをお楽しみください。

2025/4/12 (土)~13 (日) 13:00~18:00
@ギャラリー chibimado (チビマド)
国分寺市南町2-10-10 国分寺駅南口より徒歩5分



今回は、おいしいお弁当やお惣菜で人気のカフェラパンさんにおじゃまします

出張！マサーヨがゆく

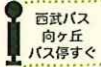
2025/4/25 (金) 13:30~16:30

どなたでも大歓迎！ご予約不要！

おとなも子どももおしゃべりしにお立ち寄りください。



@café lapin 東恋ヶ窪 2-36-1
西武国分寺線恋ヶ窪駅徒歩13分



お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/>

※お店へのお問い合わせはご遠慮ください

小坂まさ代 暮らしのエッセイ

「桜舞い散る頃になると思い出すこと」



次女が保育園を卒園したのは、2018年の春だった。その年は例年よりも桜の開花が早く、春分の日卒園式にはすでに咲き始めていたのだが、当日は雪が降り、とても寒い日だった。長女の卒園のときは、「もうこうして娘を自転車の前後に乗せて3人乗りをする毎日は終わるのだな」としみじみしたが、次女の卒園のときは、いよいよ私も保育園に通わない日々が来るのだと思うと、それまでの長かったようなあっという間だったような6年間のあれこれがさざなみのように寄せては返し、涙が止まらなくなって唸咽した。

ある日、卒園式の写真に添えて、母にたった一言「無事に終わりました」とメールを送った。夕方届いた返信には、こう書かれていた。「Mちゃん卒園おめでとう。寒い1日だったけど大丈夫だった？写真、かわいく撮ってましたね。今度お話し聞かせてね。まあちゃん、おめでとう。仕事しながらがんばったね。お疲れさま！たったこれだけの短い文章だったが、心がぎゅっとなり、前日あんなに流した涙が、またぼろぼろと出てきた。

長女を出産してから、母や義母や周りの人にずっとずっと助けてもらえばなしの10年だった。その後何年経っても、未だに家事も育児も上手くはできないまま。『私がこんなに何もできないのは、家にいた頃、お母さんが全部やっちゃって、私に何も教えてくれなかったからよ！私のことを思うなら、やってくれるんじゃないかって、いつか自分でもちゃんとできるように教えてほしいわ！』当時、余裕が全くない日々を送っていた私は、母に向かって言わなくてもいいひどい言葉を投げってしまったことが度々あった。70を過ぎ、実家から1時間半かけて、体調を崩した私や孫の世話をしに来てくれたり、家事の手伝いに来てくれたりしていたのにだ。

あのとき、母は一言も言い返すことなく、じっと黙ったままだった。それまで見たこともないほどの悲しそうな表情を浮かべていたことを思い出すと、今でもちくちくと胸が痛くなる。けして忘れてはいけない痛みだ。

今年も、また桜の季節がやってくる。あといくつ繰り返せば、母のような言葉を娘にかけられる人になれるだろうか。

この春、ご卒園、ご卒業を迎えた方々やご家族の皆さま、おめでとうございます。次に進む場所が温かくなりますように。心よりお祈り申し上げます。



『ゆうちゃんのみぎさーしゃ』

作・村上祐子 絵・片山健 福音館書店

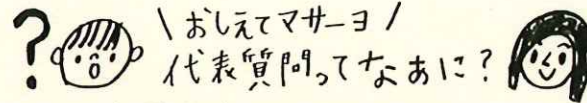
私が子どもの頃に大のお気に入り度何度何度も読んだ思い出深い絵本。国分寺市在住の片山健さんの初めての絵本と知ったのは、ごく最近のこと。「あれ」がミキサー車からあふれ出ると、子どもにとっては夢のようなお話です。

小坂まさ代 国分寺の暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、縁もゆかりもなかった国分寺に転居。ふたりの娘に親として育てられている。2021夏、生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。2023春の市議選で再選。現在2期目。国分寺をより暮らしやすいまちにしたいと、子どもも含めた市民の声を市に届け続けている。泉町在住。

生活者ネットワークの活動

市民による市民のための政治団体です。国分寺では約40年に渡って活動しています。現在、3人の市議会議員（高瀬かおる、小坂まさ代、松岡まり）と都議会議員（岩永やす子）が市政と都政連携して活動中。お話し会、調査活動、学習会など楽しい活動がたくさん！お気軽にのぞいてみてください。



市長が最初の議会で示す「施政方針」※に対して、各会派の代表が行う質問のことだよ。国分寺市議会では毎年2月の日曜議会で行われるんだ。今年は2/23に新しい議場で行われ、マサーヨが市長に質問したよ！（※次年度の市政運営の基本姿勢と取り組むべき重点方針）

2025 国分寺・生活者ネットワークの代表質問より



新しい市役所が泉町にできて2か月が経ちました。市民からどんな声が聞こえていますか？



「新しくなっうれしい」「便利になった」など好感を持って受け止めていただけてます。市役所がより身近な存在になったのではと感じているところです。



新しい国分寺市の総合ビジョンが4月からスタートします。子どもにもわかりやすい「やさしい版」をつくってほしい！



総合ビジョンの「子ども版」をつくります！主に中学生が市の計画に触れるきっかけになるように考えて、関係する様々な部署と連携を取りつつ、デザイン等の検討を進めています。



西元町の黒鐘公園が整備されるとか？市内にもっと緑を増やしてほしい！市有地化の検討を。



黒鐘公園は、都から土地を買って市有地になりました。公園の北側部分にバリアフリートイレや駐車場をつくったり、障害があってもなくても遊べる遊具を新しく置きます。今ある緑はできるだけ残して整備します。令和7年度中に使えるようにする予定です。市内に残る貴重な緑地である新町一丁目緑地や西町五丁目緑地は、これらも大切に保全していきます。市民のいこいや交流の場となるよう、整備を進めます。



中学校の部活動の地域移行って？



先生たちの働き方改革の一環として、負担を軽くすることを目的のひとつとしています。部活動コーディネーターの方に入ってもらい、地域の方や事業者にも部活動を担当してもらえるように進めていきますが、さまざまな課題については慎重に検討していきます。中学生や保護者の方々は丁寧に説明していきます。

代表質問の様子を動画で見ることができます。ぜひご覧ください。



生活者ネットこくぶんじ No.180 小坂まさ代の活動を紹介します

発行日：2025年3月1日 発行：国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者：田中由紀

〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ 103 TEL: 042-328-1864

FAX: 042-328-1878 kokubunji@seikatsusha.net <https://kokubunji.seikatsusha.me>